

令和5年度 第1回学校運営協議会 会議録

日時 令和5年6月23日(金) 14:30～16:30 会議室

出席者 委員 校長、鈴木、志村、石渡、小市、中尾、酒井、新倉、大鳥中学校(代理)
職員 副校長、宮崎、石川、渡辺、岩崎、齋藤、村山

欠席者 委員 新庄 職員 教頭

次第 ①授業見学(14時30分～15時22分)

1年生「総合的な探究の時間」

JICA(独立行政法人国際協力機構)による出前授業

②自己紹介(15時30分～)

委員及び職員の自己紹介

③「総合的な探究の時間」の取組について

④委員委嘱

⑤校長あいさつ

⑥学校運営協議会委員名簿の確認

⑦運営協議会の会長及び副会長選出

⑧令和4年度活動報告及び令和5年度の主な活動予定及び検討課題等について

●カリキュラム開発グループ

「生徒の学力を伸ばすために1人1台端末をどのように使っていくか」をテーマに教科全体での協議をもとに第一回研究授業を行った。

小中学校での利用はどうなっているか。

⇒・コンピューターの使用は教科担当による。児童への悪影響も心配している。(間門小 中尾校長先生)

・学校によって利用法に大きな差があるようだが、本校ではコンピューターの使用はあまり進んでいない。生徒全員がPCを充電できるようになっている。(大鳥中学校先生)

●生活保健グループ

SC,SSWが週に1回配置されるようになったが、支援に必要な生徒が多く、余裕のない状態である。生徒の情報を全教員間で共有することに力を入れていく。

生徒の支援にはどのようなことが必要か。

- ⇒・該当生徒のアセスメント、小中学校での生活歴や成育歴、担任の先生との情報共有が大切。(岩谷学園 志村校長先生)
- ・問題を担任だけで抱え込まないこと。外部との連携も大事。(体験活動サポート開港場代表 小市様)
- ・SSW 月 1 回のみ配置 (小中学校共)
- ・保護者側の子供の問題の認識が弱いと外部機関につなげにくい。(中尾校長先生)
- ・情報共有をどのようにしていくかが課題だ。(元県立高校校長 石渡先生)

●学校管理グループ

コロナの影響でオンラインで防災訓練をするなど規制があったが、これからはコロナ前かそれ以上に防災対策を改善する必要がある。広域避難場所名簿リストを完成し、実際に訓練 (DIG) を実施する予定。

●広報渉外グループ

イベント毎に情報を更新してホームページを充実させていく。オープンキャンパスや部活紹介の機会などに、より多くの中学生に直接学校を見てもらおう。全公立展では1年生約20名の協力も得て3000枚以上のチラシを配布。立野が第一希望の生徒が増えるように工夫検討していく。

●生徒会グループ

立野祭やクラスの日などの行事の際に、生徒の希望になるべく沿うように努めている。今年のカラスの日では綱とり、二人三脚など去年はできなかった種目を増やした。今年のカラス祭は食品販売が再開され、来客の制限を設けず行う予定。

●キャリアグループ

推薦入試を利用して大学に進学を希望する生徒の割合が圧倒的に多い。成績が良く実力のある生徒が真っ先に推薦入試で決まってしまうケースが多い。昨年度、早稲田大学に一般入試で合格した生徒がいたが、じっくりと受験勉強に取り組む生徒が少ないのが現状だ。これからもう少し高いレベルの進学先を目指す生徒が増えてほしいと思う一方で、過去受験浪人して精神的に落ち込んだ生徒もいたので、生徒一人ひとりのニーズに合わせた進路指導が大切だと考える。

大学入試における英語の重要性は高まっているか。

- ⇒ ・英語の資格があると受験に有利だが、その前に英語を使う意義を知ることも大事。まずは高校在学中に英検2級取得を目指すといい。東京女子大学の教職課程を選択している生徒が英検の勉強を小中学校の生徒に指導しに行っている。機会があればそのような交流ができるとよい。(東京女子大教授 鈴木先生)